

プレスリリース
報道関係者各位

2018 年 11 月 28 日
チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社

チェック・ポイント、CloudGuard SaaS の提供開始を発表

11/29 開催「CPX 2018 Tokyo」で CloudGuard SaaS の講演、デモを実施予定

米カルフォルニア州サンカルロス – 2018 年 11 月 27 日--ゲートウェイからエンドポイントまで、包括的セキュリティを提供するチェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ (Check Point® Software Technologies Ltd. NASDAQ: CHKP) は本日、SaaS アプリケーションを狙う高度なセキュリティ脅威に対抗する業界初のクラウド・スイート製品「CloudGuard SaaS」の提供を開始したと発表しました。（日本市場では、本日 11 月 28 日より提供開始となります。）

チェック・ポイントのクラウド・セキュリティ製品ファミリー「CloudGuard」に新たに加わった CloudGuard SaaS は、Office 365 や GSuite、OneDrive などの SaaS アプリケーションやクラウド型電子メール・サービスを保護し、標的型攻撃による機密データの窃取を防止します。SaaS を狙う高度な脅威に対処するこのクラウド・サービスは、マルウェアやゼロデイの脅威、フィッシングなどの攻撃に加え、社員アカウントの乗っ取りにも対応する全方位の保護を提供します。また、許可なく使用されている SaaS アプリケーションを検出して情報漏洩を防止する機能や脅威を同時に可視化する機能も備えています。

チェック・ポイントの製品管理担当バイスプレジデントを務めるイタイ・グリーンバーグ (Itai Greenberg) は、「第 5 世代*と呼ばれる今日のサイバー攻撃に対抗するためには、ビジネス向けクラウド・アプリケーションを狙う脅威の増加に対応できるテクノロジーが必要です。多くの組織はすでに、可視化と情報漏洩防止の機能を提供する Cloud Access Security Broker (CASB) と呼ばれるソリューションを導入していますが、チェック・ポイントの CloudGuard SaaS は、CASB にとどまらない、さらに高度な機能を提供します。SaaS アプリケーションに対する典型的な攻撃を防御できるように設計されており、導入組織へ安全と大きな安心感をもたらします」と述べています。

最近の調査によると、Web アプリケーションの約半数 (44%) には、ユーザ・データの窃取リスクが見つかっています。また同じ調査では、検証した Web アプリケーションのすべてに何らかの脆弱性が存在し、深刻な脆弱性を含む Web アプリケーションは 53% にも上ることが判明しています。CloudGuard SaaS の導入により、多様な企業向け SaaS アプリケーションに必要な検知のみならず防御型のセキュリティ技術をわずか数分で導入することが可能となります。

アナリスト企業 ESG のシニア主席アナリストであるジョン・オルトシック (Jon Oltsik) 氏は、「今日の企業は、SaaS アプリケーションなど複数の経路からサイバー攻撃を受けるリスクにさらされています。チェック・ポイントの CloudGuard SaaS のような製品は、フィッシング攻撃からゼロデイ攻撃まで、さまざまなレベルの攻撃から組織を保護するために役立ちます」と述べています。

マルウェア攻撃やゼロデイ攻撃に対する効果的な脅威対策技術：業界をリードするチェック・ポイントの SandBlast 技術を搭載した CloudGuard SaaS は、SaaS アプリケーションに対するマルウェア攻撃やゼロデイ攻撃を効果的に防御します。SandBlast は、事実に基づく客観的なセキュリティ・テストを実施する世界的な評価機関、NSS Labs のテストにおいて、100%のブロック率と検出回避の試みに対する最高の検出率を記録しています。CloudGuard SaaS は、このような技術を活用して、添付ファイルを利用した攻撃や、ファイル・ホスティング・サービスおよびコラボレーション・ツールへの不正なファイルのダウンロードを阻止します。また、高度な脅威エミュレーション技術と脅威除去技術により、ユーザに届く前の段階でゼロデイの脅威をブロックし、無害化した安全なコンテンツのみを遅延なしで転送します。

アカウントの乗っ取りを防ぐ画期的な技術：CloudGuard SaaS は、不正なユーザによるログインを拒否して、SaaS アカウントの乗っ取りを防ぎます。この機能は、アカウントがすでに侵害を受けている場合でも有効です。複数ファクタ認証を一元化する新技術 ID-Guard™ により、不正なログインを検出し、なりすましによるアクセスを防止します。また、PC やモバイル・デバイスなど、デバイスの種類を問わず、あらゆる SaaS アプリケーションのユーザを認証できます。

フィッシング攻撃に対する包括的な保護：人工知能エンジンを活用する CloudGuard SaaS は、一般的な電子メール・サービスよりも多様なフィッシング攻撃に対応できます。他社のソリューションが見逃す高度なフィッシング攻撃、スピア・フィッシング攻撃、なりすましメールも検出可能です。電子メールに含まれる不正なコンテンツも、正確かつ確実にブロックできます。

本リリースは、米国時間 11 月 27 日に配信されたものの抄訳です。

英文オリジナルはこちら：

<https://www.checkpoint.com/press/2018/beyond-casb-power-check-point-announces-general-availability-for-cloudguard-saas/>

日本語版はこちら：

https://www.checkpoint.co.jp/press/2018/pressrelease_20181128.html

CloudGuard SaaS は本日から提供が開始されます。

詳細については、<https://www.checkpoint.co.jp/products/saas-security/index.html> をご覧ください。

*第 5 世代のサイバー攻撃：

第 5 世代のサイバー攻撃とは、モバイル環境、クラウド環境、およびオンプレミスのネットワークを対象に、大規模かつ高速に展開される攻撃を指します。この高度な攻撃は、組織全体をカバーするセキュリティ・アーキテクチャが考慮されていない場合、多大な影響に発展することが考えられます。（翻訳版のみの注釈）

■11/29（木）開催「CPX 2018 Tokyo」では、CloudGuard SaaS の講演、デモを実施予定です。

会場：東京コンファレンスセンター・品川（〒108-0075 東京都港区港南 1-9-36 アレア品川 5F）

詳細は、<https://www.event-site.info/cpx-tokyo-2018/>をご覧ください。

■チェック・ポイントについて

チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ（ www.checkpoint.com ）は、世界各国の政府機関や企業など、あらゆる組織に対応するサイバー・セキュリティ・ソリューションを提供する大手プロバイダーです。業界随一の検出率を誇る先進のソリューションにより、お客様のネットワークを、マルウェアやランサムウェアなどの多岐にわたる第5世代のサイバー攻撃から保護します。企業のクラウドやネットワークのほかモバイル・デバイスに保存されている情報を、今日の第5世代のサイバー攻撃を含めてあらゆる脅威から保護するため、第5世代の脅威に対応するマルチレベルのセキュリティ・アーキテクチャを備え、直感的で操作性に優れた総合的かつ一元的なセキュリティ管理システムを展開しています。世界の10万以上の組織・企業がチェック・ポイントのセキュリティ製品を利用しています。

《本件に関するお問い合わせ先》

チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社

広報代行 共同ピーアール株式会社

担当 マーケティング 横山

担当 上瀧・花岡

Tel: 03-5367-2500 / Fax: 03-5367-2501

Tel: 03-3571-5238 / Fax: 03-3571-5380

Email: marketing_jp@checkpoint.com

Email: checkpoint-pr@kyodo-pr.co.jp